

# 安全衛生総合部会 マネジメントシステム分科会

会場名 名古屋市公会堂大ホール（28ページ交通案内）名古屋市昭和区鶴舞1-1-3  
最寄駅 JR中央本線「鶴舞駅」、地下鉄鶴舞線「鶴舞駅」

## 10月30日(木)のプログラム

9:30開始

### 1 安全衛生活動の実態調査と支援活動への取組み

豊田安全衛生マネジメント(株)  
技術支援部長 水谷 進

弊社は、トヨタグループ関連企業における安全衛生管理の向上を目的に設立された。今回は、各企業を対象に実施してきた安全衛生診断・支援活動について報告する。

9:55

### 2 これからの安全管理

三島光産(株)大型成形金型事業部 谷口 毅文

社の安全衛生活動としてOHSMSの導入が発表された。聞いて終わりにせず、方針を理解し、自分たちのやるべきことを納得し、活動を推進した。

10:20

### 3 業種別OSHMSの構築と運用について

(株)INAX安全・防災推進室 加藤 登

災害件数の減少が鈍化する中、業種の異なる生産、間接、営業の各部門に対して、業務の時間に合わせたOSHMSを構築し、現状打破を図った。

(10:45~11:00休憩) 11:00

## 特別報告 JISHA方式適格OSHMS認定事業の現状と今後の展開について

中防災技術支援部長 荒川 輝雄

(11:50~13:00昼休み) 13:00

## 特別報告 我が事業所が進める労働安全衛生マネジメントシステム（仮題）

住友化学工業(株)千葉工場常務取締役工場長 荒木 正志

13:40

### 4 SV伸線工程における危険要因ゼロへの挑戦

(株)神戸製鋼所神戸製鉄所品質保証室 藤澤 靖

リスクアセスメントを導入したことで、PDCAを機能的に回すことが容易になり、継続的な有害リスクの排除ができた。この活動の成果を報告する。

14:05

### 5 リスクアセスメントへの挑戦

東京急行電鉄(株)運転車両部  
元住吉検車区助役 寺久保宏樹

当区では、リスクアセスメントの導入を試みており、試行錯誤の後、区員の意見などを反映し、当区オリジナルなリスクアセスメントを構築した。

14:30

# 安全衛生総合部会 マネジメントシステム分科会

14:30

## 6 安全衛生マネジメントシステムの構築と展開

対象を組・課・事業所の3階層に分け、安全衛生マネジメントシステムを構築、展開した。今回は、特に組・課の活動を報告する。

(株)豊田自動織機安全衛生環境部安全G 秋本 友勝

(14:55~15:05休憩) 15:05

## シンポジウム OSHMSの導入が安全衛生管理に与えている影響(仮題)

講師	(社)日本経団連労働安全衛生管理システム小委員会会長 三洋電機労働組合産機支部執行委員長 キリンビール(株)生産本部生産統轄部環境安全担当部長代理 YKK(株)黒部事業所ファスニング事業本部安全衛生管理室長	小出 勲夫 斎藤 実 丸山 誠一 村井 和夫 西本 徳生 一瀬 壽幸
助言者	厚生労働省安全衛生部安全課長	
司会	中災防技術支援部マネジメントシステム推進センター所長	

17:00終了

## 10月31日(金)のプログラム

9:30開始

## 7 OSHMSに係わる危険源の抽出及びリスク評価基準の事例

OSHMSの理解の一助として、さらに危険抽出について、最近のリスクアセスメント手法を紹介する。組織に相応しく、使いやすく、かつ納得する事例の紹介。

労働安全コンサルタント中尾事務所 中尾 敬

9:55

## 8 当所におけるOSHMSの整備

当所の安全衛生管理をベースに、厚生労働省の指針に沿ったOSHMSを整備した。特に、リスクアセスメントに重点を置き、大きな成果を得ることができた。

住友金属工業 鹿島製鉄所  
総務部安全健康室参事補 横山 弘之

10:20

## 9 「わかるちゃ!マニュアル」によるSHVAの向上

チェック項目の求める姿を画像、写真を活用し、安全基準、安全範囲の各急所を視覚にアピールすることで、すべての人が同じイメージを持つようにしたものである。

YKK(株)黒部事業所ファスニング事業本部  
環境管理センター安全衛生管理室主幹 大江 俊行

10:45

## 10 簡易型および詳細型を用いたリスクアセスメントの実施

当事業所では、作業の安全を確保するため、従業員および請負各社を含め、簡易型および詳細型を用いたリスクアセスメントを実施している。

核燃料サイクル開発機構大洗工学センター  
安全管理部安全対策課課長代理 野村 紀男

(11:10~11:20休憩) 11:20

## 講演 企業の社会的責任と労働安全衛生マネジメント

麗澤大学国際経済学部教授 高 巖

12:35終了

# 安全衛生総合部会 中小企業分科会

会場名 デザインホール (ナディアパークデザインセンタービル3F 28ページ交通案内)  
最寄駅 地下鉄名城線「矢場町駅」 名古屋市中区栄3-18-1

## 10月30日(木)のプログラム (この日のみ開催)

9:30開始

- 1 “たんぼぼ<sup>プラン</sup>計画”成否の鍵は事務局にあり  
三井化学下関地区企業圏協力会社  
災害防止協議会事務局 岩崎 克巳  
SMC(下関三井化学)災害防止協議会会員  
事業場の安全衛生活動の活性化と、レベル  
の向上を目指して2年間、積極的に取り組  
んだ「たんぼぼ計画」の効果について報告。

9:55

- 2 善通寺に“たんぼぼ”の花を咲かそう!  
㈱いわま黒板製作所代表取締役社長  
(善通寺工業クラブ構成事業場) 角野 幸治  
異業種団体「善通寺工業クラブ」の「たん  
ぼぼ計画」への取り組み、ならびに構成事  
業場における安全衛生活動の実施内容と  
その成果、今後の展開について報告する。

10:20

- 3 当社における安全衛生環境活動～無災害への取り組み～  
エイベックス㈱製造グループ部長 岡野 広美  
6Sに対する企業風土づくり、安全衛生環境  
委員会の充実、防火に対する組織の確立と意  
識の向上により中小企業無災害記録金賞を受  
賞するに至った活動について報告する。

(10:45～11:00休憩) 11:00

### 特別報告 ヒューマンエラーはどう防ぐ? その基本的考え方

金沢工業大学人間情報工学科・経営情報工学科教授 小松原明哲

(12:00～13:00昼休み) 13:00

### ビデオ上映 12:30～12:55 “安全第一”の由来

13:00

### シンポジウム 中小企業における安全風土と企業経営

講師	労働安全・衛生コンサルタント 労働安全コンサルタント 吉野プラスチック㈱福岡工場工場長	柏木 時彦 塚田 二郎 牧本 和孝
助言者	厚生労働省労働基準局安全衛生部計画課調査官	田中 正晴
司会	中災防九州安全衛生サービスセンター副所長	白井 瀧雄

(15:15～15:30休憩) 15:30

### 講演 終点のないものづくり、人づくり

半世紀にわたり旋盤と向かい合ってきた人生を語る

作家 小関 智弘

17:00終了

# 安全衛生総合部会 中小企業分科会

会場名 デザインホール (ナディアパークデザインセンタービル3F 28ページ交通案内 )  
最寄駅 地下鉄名城線「矢場町駅」 名古屋市中区栄3-18-1

## 10月30日(木)のプログラム (この日のみ開催)

9:30開始

- 1 “たんぼぼ<sup>プラン</sup>計画”成否の鍵は事務局にあり  
三井化学下関地区企業圏協力会社  
災害防止協議会事務局 岩崎 克巳  
SMC(下関三井化学)災害防止協議会会員  
事業場の安全衛生活動の活性化と、レベル  
の向上を目指して2年間、積極的に取り組  
んだ「たんぼぼ計画」の効果について報告。

9:55

- 2 善通寺に“たんぼぼ”の花を咲かそう!  
㈱いわま黒板製作所代表取締役社長  
(善通寺工業クラブ構成事業場) 角野 幸治  
異業種団体「善通寺工業クラブ」の「たん  
ぼぼ計画」への取り組み、ならびに構成事  
業場における安全衛生活動の実施内容と  
その成果、今後の展開について報告する。

10:20

- 3 当社における安全衛生環境活動～無災害への取り組み～  
エイベックス㈱製造グループ部長 岡野 広美  
6Sに対する企業風土づくり、安全衛生環境  
委員会の充実、防火に対する組織の確立と意  
識の向上により中小企業無災害記録金賞を受  
賞するに至った活動について報告する。

(10:45～11:00休憩) 11:00

### 特別報告 ヒューマンエラーはどう防ぐ? その基本的考え方

金沢工業大学人間情報工学科・経営情報工学科教授 小松原明哲

(12:00～13:00昼休み) 13:00

### ビデオ上映 12:30～12:55 “安全第一”の由来

13:00

### シンポジウム 中小企業における安全風土と企業経営

講師	労働安全・衛生コンサルタント 労働安全コンサルタント 吉野プラスチック㈱福岡工場工場長	柏木 時彦 塚田 二郎 牧本 和孝
助言者	厚生労働省労働基準局安全衛生部計画課調査官	田中 正晴
司会	中災防九州安全衛生サービスセンター副所長	白井 瀧雄

(15:15～15:30休憩) 15:30

### 講演 終点のないものづくり、人づくり

半世紀にわたり旋盤と向かい合ってきた人生を語る

作家 小関 智弘

17:00終了

# 安全衛生総合部会 第三次産業分科会

会場名 デザインホール（ナディアパークデザインセンタービル3F 28ページ交通案内）  
最寄駅 地下鉄名城線「矢場町駅」 名古屋市中区栄3-18-1

## 10月31日(金)のプログラム（この日のみ開催）

9：30開始

### 1 職員・ゆうメイト定期健康診断100%受検対策

白子郵便局総務課総務主任  
（前四日市西郵便局総務課主任） 齋田 圭介

職員・ゆうメイトの健康管理は、事業にとって大きな課題である。対象者自ら、自分の健康について興味を持つよう働きかけることで、完全受検を目指した。

9：55

### 2 ゼロ災害運動

福島総合警備保障(株)原町支社技術課課長 正木 弘美

災害防止の向上を図るため、会社全体で取り組んでいる活動内容を紹介する。

10：20

### 3 異業種の事故情報共有化と組織活用

(株)トヨタエンタプライズ警備カンパニー 草野 正久

当社は多業種多職場であるため、異業種でも起こりうる事業の要因に対して、安全組織の編成と個別の安全活動を結びつけることにより、発生率を低減する。

10：45

### 4 安全で健康的な職場づくりへの挑戦！

東警(株)事業本部課長 野田 幸一

われわれ警備業を営むものとして、時代の流れに合った社員一人ひとりの安全意識の高揚と、健康管理をテーマとした取り組み（業務体操等）を紹介する。

（11：10～11：20休憩）11：20

## 講演 登山隊長としてのリーダーシップ

医師・登山家 今井 通子

12：35終了

# 安全衛生総合部会 ゼロ災運動分科会

会場名 愛知県勤労会館講堂（28ページ交通案内）名古屋市昭和区鶴舞1-2-32  
最寄駅 JR中央線「鶴舞駅」

10月30日(木)のプログラム（この日のみの開催）

## ゼロ災運動30周年記念分科会

9：35開始

### 1 人間教育運動による行動改善活動の展開

山九(株)岩国支店物流事業グループ

一般物流係サブリーダー 小石 幸夫

「人間尊重」の企業理念に基づく「謙を中心とした5S+1S」、「人間教育運動」を基本とした、事業運営に直結する安全・品質向上活動の展開事例。

10：00

### 2 中小規模事業所から見たゼロ災運動への思い

(社)静岡県労働基準協会連合会安全衛生インストラクター

中災防公認KYTインストラクター 小林 敏明

5年あまり中小規模事業所の安全衛生に係わった私が、中心においたのは、現場に則し、仕事の危険と向き合うことだった。ゼロ災運動30年に当たり、その思いを発信したい。

(10：25～10：35休憩) 10：35

## 運動報告 第7次推進計画からみる

これからのゼロ災運動のポイント

中災防ゼロ災推進部長 古川 祐二

11：15

## 特別報告 トヨタ自動車における人づくり

トヨタ自動車(株)元町工場車体部次長 戸松 良

(12：00～13：10昼休み) 13：10

### 3 全員で取り組む実践的なゼロ災活動

日本貨物鉄道(株)東北支社郡山車両所助役

菅野 隆一

ゼロ災を達成するため、危険予知活動に独自の工夫を施し、実践的な活動を展開、ゼロ災害を継続している。

13：35

### 4 HEZ推進活動の導入

CTCテクノロジー(株)

アカウントサポート部部长 阿部 浩康

ITネットワークの保守作業時に、ヒューマンエラーによる影響が予想外に大きいため、ヒューマンエラーゼロを目指し、ゼロ災KYT手法を導入した。

14：00

### 5 KYT + 日々の作業手順書でゼロ災を目指す

(株)辻本組代表取締役 辻本進一郎

「KYT基礎4R法」を核とし、「日々の作業手順書」に基づき、活用して「ゼロ災害」を目指し、「日本一安全な鉄道工事協力会社」を実現する。

14：30

アトラクション

大森石油(株) ウインドアンサンブル

14：50

(7)

# 安全衛生総合部会 ゼロ災運動分科会

14:50

**表彰** ゼロ災運動30周年記念表彰

(15:25~15:35休憩) 15:35

**講演** 極寒の中の二つの遭難事件

時代が今、組織リーダーに求めるもの

マナスル登山隊、南極越冬隊元隊員 高橋 嘉彦

17:00終了

## 第23回ゼロ災運動全国交流会 ゼロ災運動30周年記念全国交流会 を開催！

ゼロ災運動推進者や安全衛生担当者、さらにはゼロ災運動地区組織の交流の場として、職場の安全衛生に携わる多くの皆様にご参集いただき、ゼロ災運動の30年をなつかしく振り返るとともに、これからの職場の安全衛生とゼロ災運動を大いに語らってください。

**お申込み：本案内書34頁をご覧ください。**

# 安全衛生総合部会 RST分科会

会場名 中電ホール（28ページ交通案内）名古屋市東区東新町1番地  
最寄駅 地下鉄東山線「栄駅」

## 10月31日(金)のプログラム（この日のみの開催）

9：20開始

### 講演 RST講座の回顧と展望

RST講座30周年を記念して

中災防東京安全衛生教育センター所長

中村 富也

（9：40～9：45休憩）9：45

### シンポジウム 求められる職長像と職長教育

講師	味の素(株)川崎事業所エリア管理部長	白田 輝也
	トヨタ自動車(株)衣浦工場工務部主査	竹内 宏
	柏崎刈羽原子力企業協議会事務局次長	武藤 宣義
司会	中災防東京安全衛生教育センター所長	中村 富也

（11：00～11：10休憩）11：10

### 講演 ヒューマンファクターと安全衛生教育

日本ヒューマンファクター研究所事務局長（元全日空機長）

石橋 明

12：20終了

# 安全衛生総合部会 海外安全衛生分科会

会場名 名古屋市公会堂第7集会室（28ページ交通案内）名古屋市昭和区鶴舞1-1-3  
最寄駅 地下鉄鶴舞線「鶴舞駅」、JR中央本線「鶴舞駅」

## 10月30日(木)のプログラム（この日のみの開催）

9：30開始

1 海外派遣労働者への海外医療相談の現状  
労働福祉事業団海外勤務健康管理センター  
研修交流部 梅村 聖子

海外派遣労働者および帯同家族の海外医療や健康問題に関する意識を明らかにすることによって、海外派遣に対する産業衛生活動の現状と今後の課題を検討する。

9：55

2 海外事業場における安全管理

イーグル工業㈱総務部総務課課長 吉川 智明

当社が所属するNOKグループでは、長期経営計画に基づき安全衛生計画を策定し、設備機械の安全化を進めてきた。今後は、海外関連会社に横展開を図る。

10：20

3 フロッピーディスクによる海外健診の有用性

労働福祉事業団海外勤務健康管理センター  
研修交流部 小林 麻美

安全な海外勤務を支援するために、海外赴任者にFD化された健診情報を提供する検討を行った。海外赴任者には、FD情報は有用であると判明した。

（10：45～11：00休憩）11：00

**講演** 海外進出企業の危機管理について（仮題）

12：10終了